

第7章 河川空間の利用状況

7-1 河川の利用状況

(1) 概況

平成15年度河川水辺の国勢調査(河川空間利用実態調査)結果によると、肝属川の年間推定利用者数は約15万人程度である。

利用形態では、釣り、散策の利用者が多く、利用場所としては水際が最も多い。

近年、肝属川では、子供たちによる自然体験・環境学習活動、カヌー大会等が盛んに行われている。

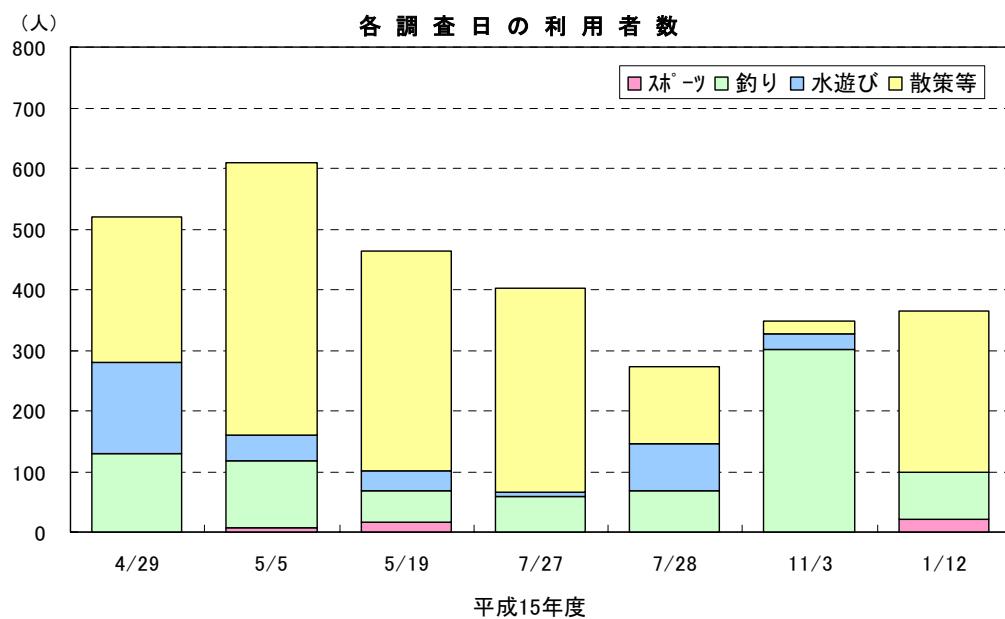


図7-1 各調査日の利用者数

区分	項目	年間推計値 (千人) 平成15年度	利用状況の割合 平成15年度	
			スポーツ	釣り
利用形態別	スポーツ	2	1.3%	53.2%
	釣り	82	37.0%	53.2%
	水遊び	13	8.4%	53.2%
	散策等	57	22.7%	53.2%
	合計	154	100%	100%
利用場所別	水面	6	3.9%	57.8%
	水際	89	22.7%	57.8%
	高水敷	24	15.6%	57.8%
	堤防	35	3.9%	57.8%
	合計	154	100%	100%

表7-1 年間河川空間利用状況

出典：河川水辺の国勢調査 平成15年度 河川空間利用実態調査(肝属川) 報告書より

(2) 空間利用の概況

1) 肝属川上流部

肝属川の水源である高隈山地は、1000m以上の山々が連なり、「高隈山県立自然公園」、「21世紀に残したい日本の自然100選」に指定され、高隈山系自然休養林内の自然豊かな渓流には、渓流釣りや水遊びが行えるキャンプ施設が整備されている。

肝属川上流では、水辺に散策路が整備され、市民の散策等に利用されている。

鹿屋市街部の鹿屋小学校前では、緩傾斜堤防等が整備され水辺に近づき易くなり、環境学習活動が行われている。

さらに、市民団体を主体として河川清掃活動が行われ、親しみ易いきれいな肝属川へと地域の人々の意識、変革が進んでいる。

また、鹿屋市街部では、生活排水、ゴミの不法投棄により、過去水質の悪化が続いていたが、市民グループ「鹿屋市環境づくり会議」「小さな新設運動」により、肝属川クリーン作戦運動が定期的に行われている。



おおすみ自然休養林



鹿屋小学校前の環境学習活動



鹿屋市肝属川クリーン作戦

2) 肝属川中・下流部

肝属川の中・下流部の高水敷地の大半は、採草地として利用されている。

夏には、スカイフェスタ in 高山の会場として、かわびしょファミリークラブによるイカダ・カヌー下り等のイベントが行われている。

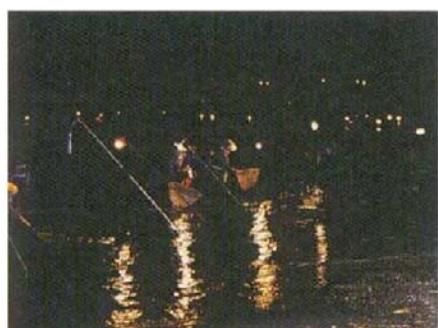
また、河口付近では、シラスウナギ漁が行われ、肝属川の冬の風物詩となっている。



イカダ・カヌー下り



スカイフェスタ in 高山会場



シラスウナギ漁



3) 串良川

串良川の水源である高隈山地は、1000m以上の山々が連なり、「高隈山県立自然公園」、「21世紀に残したい日本の自然100選」に指定され、流域低平地からは雄大な原生林に覆われた自然山岳地帯が望める。

高隈ダムの貯水池である大隅湖では、ボート乗り場等が整備され市民のレクリエーションの場として利用されるとともに、あじさい祭や漕艇大会等の各種イベントが開催されている。

また、谷田の滝は、避暑を兼ねた水遊び場として多くに人々が訪れている。



大隅湖自然公園



谷田の滝

串良川下流では、串良の町おこし、地域づくりを考える市民グループが主体となって、川の汚れの問題など、環境についての勉強会を行い、串良川のクリーン作戦、イカダ下り等のイベントが開催されている。



串良川クリーン作戦



串良川イカダ下り



串良川クリーン作戦

4) 高山川

高山川上流では、国見山地原生林と渓谷の自然の中にキャンプ施設が整備され、渓流釣りや水遊びに利用されている。

高山川下流では、市民グループ「こうやま・川の少年団」等が主体となって、大人も参加してのイカダ下り、水生生物調査、アユの放流や釣りなどが活発に行われており、「河川愛護月間」には、河川清掃活動も定期的に行われている。



二股川キャンプ場



高山川いかだ下り



サイクリングツアー

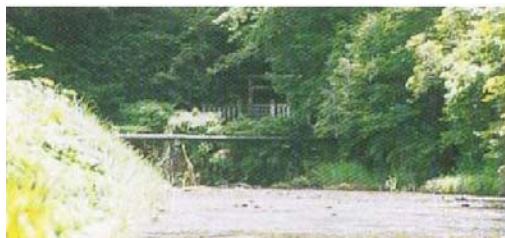


高山川クリーン作戦

5) 始良川

始良川上流には、古代の遺跡や神話にまつわる伝説が多く、吾平山上陵をはじめとした名所史跡が数多く存在している。

下流では、市民グループが主体となって、川の清掃やアユの放流、釣り大会等を行っており、近年では、カヌーの利用も盛んに行われている。



吾平山上陵



始良川クリーン作戦



カヌー体験



カヌーラリー競技

7-2 河川敷の利用状況

肝属川の高水敷面積は約 175.7ha であり、高水敷面積に対する河川利用施設の占用面積の割合は、約 30.7%程度である（『一級河川区域内 3 号地利用状況調書』より）。

高水敷での利用は、畜産業の採草地として中下流の広い区間が利用されており、公園、運動場等の利用が少ない。

採草地以外の主な利用は、肝属川 10km 付近の高水敷地で、1月 7 日に行われる「鬼火たき」や、肝属川・高山川合流点の「高山河川運動公園」、高山橋上流右岸の「流鏑馬祭り」が挙げられ、各市町主催の夏祭りに行われる花火大会の敷地として河川敷の一部が利用されている。



鬼火たき



流鏑馬祭り



高山夏祭り花火大会

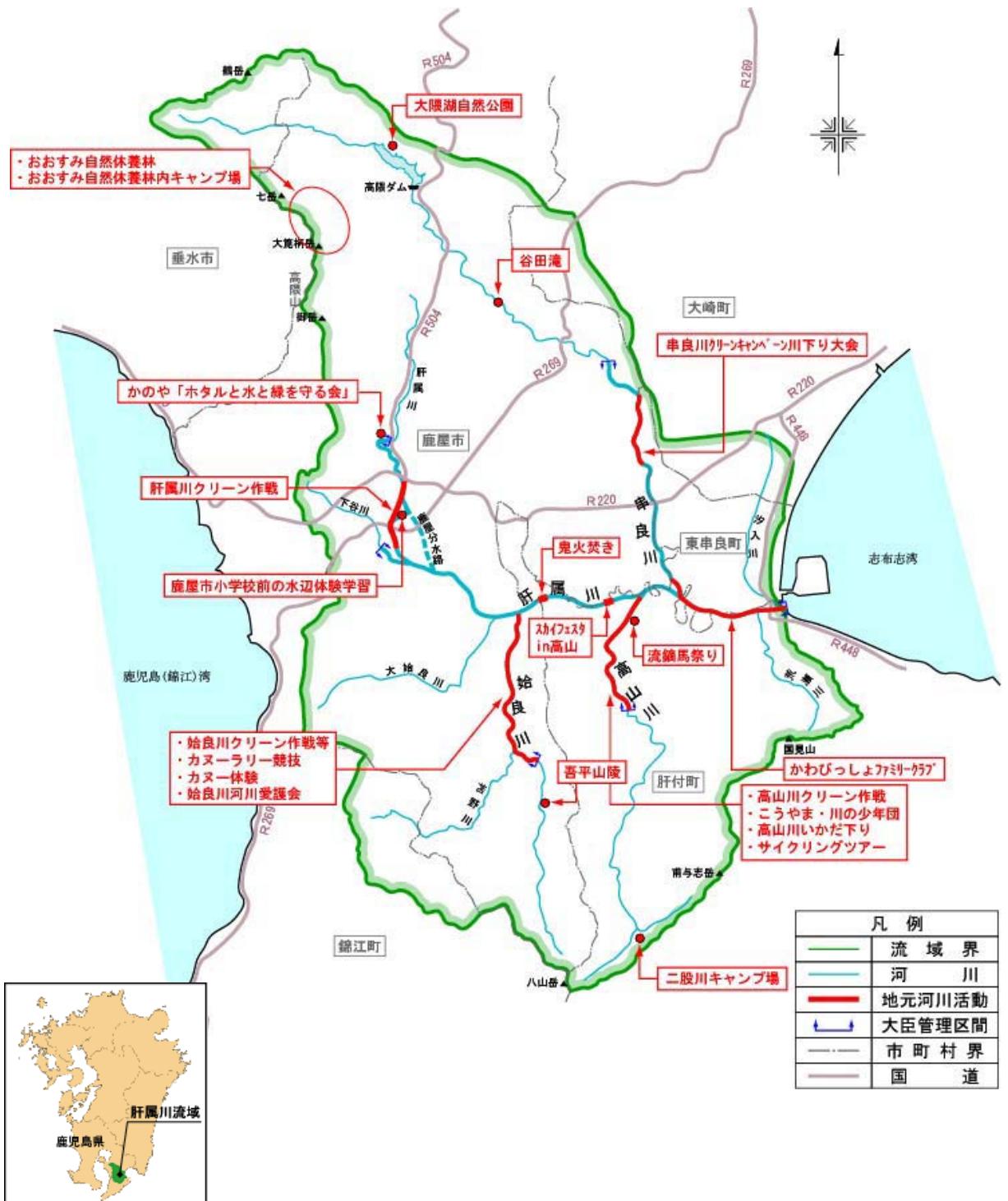


図 7-2 河川利用位置図